

パフォーマンス一覧

Index	銘柄数	時価総額 (10 億円)	パフォーマンス実績 (%) (日本円、トータルリターン)							配当 利回り (%)
			1 カ月	3 カ月	6 カ月	年初来	1 年	3 年	5 年	
日本市場										
FTSE Japan Index	502	430,906.93	5.73	9.96	15.76	17.46	28.43	38.41	160.10	1.85
FTSE Japan Value Index	502	214,956.82	4.93	9.53	13.25	13.56	27.83	37.91	146.58	2.44
FTSE Japan Growth Index	502	215,950.11	6.53	10.36	18.20	21.34	28.82	38.64	173.77	1.26
FTSE EDHEC Japan Index	502	-	5.13	9.22	15.91	19.63	28.86	54.11	183.69	1.58
FTSE Japan Minimum Variance Index	289	-	4.01	8.35	15.41	19.55	28.48	63.05	192.96	1.75
FTSE Blossom Japan Index	150	-	5.69	9.68	15.64	17.86	30.69	41.78	-	2.03
グローバル市場										
FTSE Developed Index	2,130	4,559,177.15	3.04	7.57	12.29	16.35	34.14	31.06	152.57	2.30
FTSE Kaigai Index	1,628	4,128,270.21	2.76	7.33	11.94	16.23	34.76	30.36	152.07	2.35
FTSE DBI Kaigai Index	1,628	-	1.96	5.73	11.24	14.27	30.08	23.36	133.91	2.79
FTSE EDHEC Developed ex Japan (Kaigai) Index	1,628	-	2.44	6.33	10.47	14.85	32.12	33.50	166.37	2.10
FTSE Developed Minimum Variance Index	1,379	4,231,737.46	2.64	5.93	10.37	14.99	28.35	35.13	154.13	2.25
エマージング市場										
FTSE Emerging Index	1,024	489,001.71	3.53	7.49	15.26	23.77	31.71	17.23	80.72	2.65
FTSE EDHEC Emerging Index	1,024	-	2.52	6.58	12.14	21.09	27.48	14.49	81.58	2.96
FTSE DBI All Emerging Index	1,024	-	2.59	6.71	13.10	22.96	30.81	11.92	65.90	2.76
オルタナティブ市場										
FTSE EPRA/NAREIT Developed Index	331	162,109.75	0.50	2.35	5.25	4.08	15.84	15.26	102.43	3.82
FTSE EPRA/NAREIT Developed REITS Index	264	128,771.58	-0.07	1.37	3.38	0.56	13.29	15.60	105.99	4.16
FTSE EPRA/NAREIT Emerging Index	148	21,444.78	0.72	8.92	27.52	43.32	47.87	38.16	100.41	3.35
FTSE Global Core Infrastructure Index	227	226,003.11	2.20	5.42	8.94	13.06	25.37	19.46	134.02	3.12
FTSE Developed Core Infrastructure Index	149	211,471.01	2.24	5.50	8.69	12.40	25.08	19.20	137.35	3.15
FTSE Emerging Core Infrastructure Index	78	14,532.10	1.58	4.33	12.52	23.78	29.58	21.91	78.55	2.69

データ出典：FTSE Russell 2017年10月31日付

指数に関するご質問・ご相談は、右記までお気軽にお問い合わせください。 FTSE 日本オフィス TEL:03-3581-2811 E-mail:Japan@ftse.com
詳細につきましては www.ftserussell.com をご参照ください

© 2017 London Stock Exchange Group plcおよび関連グループ事業体(「LSEグループ」)。LSEグループには、(1) FTSE International Limited(「FTSE」)、(2) Frank Russell Company(「Russell」)、(3) FTSE TMX Global Debt Capital Markets IncおよびFTSE TMX Global Debt Capital Markets Limited(合わせて「FTSE TMX」といいます)ならびに(4) MTSNext Limited(「MTSNext」)が含まれます。無断複製・転載を禁じます。

FTSE Russell®は、FTSE、Russell、FTSE TMXおよびMTS Next Limitedの商標です。ここで使用される「FTSE®」、「Russell®」、「FTSE Russell®」、「MTS®」、「FTSE TMX®」、「FTSE4Good®」、「ICB®」およびその他の商標ならびにサービスマーク(登録されているか否かは問いません)はすべて、LSEグループの該当メンバー会社またはそのそれぞれのライセンサーによって所有またはライセンスを供与されているか、FTSE、Russell、MTSNext、FTSE TMXが所有、またはそのライセンスに基づいて使用されています。

NAREIT®は、全米不動産投資信託協会(National Association of Real Estate Investment Trusts、「NAREIT」)の商標です。EPRA®は、欧州不動産協会(European Public Real Estate Association、「EPRA」)の商標です。どちらもライセンスに基づいてFTSE International Limited(「FTSE」)が使用しています。FTSE EPRA/NAREITグローバル不動産インデックス・シリーズは、FTSEが計算しています。

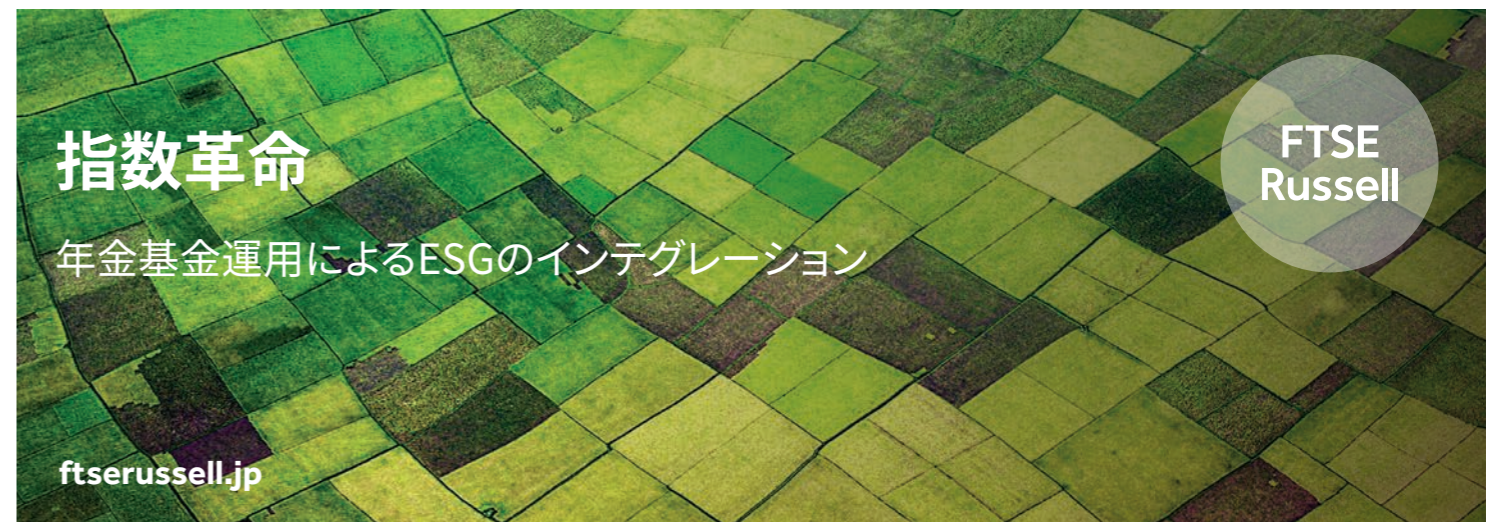
すべての情報は、情報提供のみを目的として提供されています。本刊行物に掲載されているすべての情報の正確性には万全を期しておりますが、LSEグループのいかなるメンバー会社、そのそれぞれの取締役、役員、従業員、パートナーまたはライセンサーも、本刊行物または本刊行物に含まれるいかなる情報、データの使用による誤りまたは損害に対し一切の責任を負いません。

LSEグループのいかなるメンバー会社、そのそれぞれの取締役、役員、従業員、パートナーまたはライセンサーも、明示・黙示を問わず、インデックスを使用した結果や、インデックスが使用されるあらゆる特定目的へのそれらの適合性についていかなる要求、予測、補償、表明も行いません。

LSEグループのいかなるメンバー会社、そのそれぞれの取締役、役員、従業員、パートナーまたはライセンサーも投資アドバイスを提供しません。本文書のいかなる内容も、金融や投資の助言を構成しません。LSEグループのいかなるメンバー会社、取締役、役員、従業員、パートナーまたはライセンサーも、いかなる資産への投資の推奨度に関しても一切の表明を行いません。このような資産への投資における決定は、ここに記載されるいかなる情報にも依拠すべきではありません。インデックスに直接投資することはできません。インデックスへのある資産の購入は、その資産の購入、売却または保持を推奨するものではありません。ライセンスされた専門家から法律、税務、投資についての助言を得ることなく、本刊行物に記載される一般情報を実行しないでください。

この情報のいかなる部分も、LSEグループの該当メンバー会社の書面による事前の許可なく、複製、情報検索システムへの蓄積、電子・機械・写真複製・録音など何らかの方法による転送を行わないでください。LSEグループのインデックスデータの使用および販売、ならびに金融商品を作成するためのデータの使用には、FTSE、Russell、FTSE TMX、MTSNextおよび/またはそのそれぞれのライセンサーのライセンスが必要です。

過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図やグラフの目的は、例示にのみあります。リターンインデックスは、投資資産の実際の取引結果を表したものではありません。リターンによっては、バックテストしたパフォーマンスを反映したものの場合があります。インデックス発表前のパフォーマンスは、すべてバックテストしたものです。バックテストしたパフォーマンスは実際のパフォーマンスではなく仮説となります。バックテストの計算では、インデックス発表時に有効な手法を使用しています。しかしながら、バックテストしたデータは手法を後から適用している場合があるため、さかのぼって計算を行う場合、使用する一次経済データの刷新にともなって、結果が毎月変わる場合があります。



変わりゆく受託者責任——ESGはニッチから標準へ

E(環境)S(社会)G(ガバナンス)といった非財務情報に基づいた投資判断は従来、受託者責任に反するのではないかと懸念がありました。倫理的投資と幅広くESGを考慮した投資の違いに関する議論は、米国のエリサ法などで深化し、受託者責任の解釈の見直しとともにESGはその責任に反しないという姿勢が広まっています。BlackRock、SSGA、Vanguardといった代表的な資産運用会社のCEOもそれぞれ、長期での価値創造と密接したESGについて公に言及しています。

ESGはニッチから標準へ。その動きは日本においても顕著に見られるようになってきました。国内に拠点を置く32の機関投資家によるESGを含めたサステナブル投資の総額は、2016年の約56兆円から2017年には約137兆円と、2.4倍もの伸びを示しています(JSIFアンケートより)。金額の内訳を運用手法で見ても、ESGインテグレーションは議決権行使・エンゲージメントに次いで2番目の高さです。

日本での拡大の背景には、2014年に金融庁が制定したスチュワードシップ・コード(機関投資家の行動規範)があります。今年5月の改訂によって、対話を通じた企業の持続的な成長の促進と、年金基金などアセットオーナー側の役割がより明確になり、サステナブル投資を後押しする機運が高まりました。京都大学大学院(経営管理研究部)の特定教授である加藤康之氏は、「結果の評価が難しいスチュワードシップは形だけの活動になりがちです。活動を行っ

図1.日本のサステナブル/ESG投資状況

	2016 AUM (31)	2017 AUM (32)	2016-2017年の 間の変化
ESG インテグレーション	14,240,387	42,966,133	+201.7%
ポジティブ(ベスト・イン・クラス)スクリーニング	3,020,214	6,693,443	+121.6%
サステナブル テーマファンド	1,036,139	1,384,773	+33.6%
インパクト・コミュニティ投資	369,657	372,616	+0.8%
議決権行使・エンゲージメント	34,890,329		
議決権行使		55,007,706	
エンゲージメント		88,037,433	
ネガティブ・スクリーニング	2,249,951	14,309,760	+536.0%
国際基準に基づいたスクリーニング	6,741,902	23,908,999	+254.6%
サステナブル投資総計*	56,256,632	136,595,941	+142%

*カッコ内の数字は回答企業数。

出所：JSIF。2016年、2017年ともに各年の3月末データを使用。過去の実績は、将来の結果を保証するものではありません。

DEC 2017

FTSE RUSSELL NEWSLETTER

機関投資家のニーズに応える
FTSE Russellの革新的な
インデックス・シリーズを
ベースとした情報発信レター

でも結果として企業価値の向上が伴わなければ意味がありません。つまり、アウトプット(形)ではなく、アウトカム(結果)が重要だと配慮すべき態度を表現します。

持続可能な社会を支えるという面で、PRI(責任投資原則)に署名する世界最大の年金基金であるGPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)がESG投資に着手し、2017年6月に1兆円を投じるとともに将来は3兆円にまで増やす指針を示したことも大きなインパクトを与えました。

GPIFが選定したESG指数

GPIFによるESG投資は3つの指数を選定し、同指数に連動したパッシブ運用で実現するものです。指数の選定にあたっては、①ESG評価の高い銘柄を選別する「ポジティブ・スクリーニング」②公開情報をもとに企業のESGを評価し、その評価手法や評価結果を開示③ESG評価会社及び指数会社のガバナンス体制・利益相反管理——の3つを重視し、その結果、選ばれた指数の1つがFTSE Blossom Japan Indexです。

図2. インデックスの構成

FTSE Blossom Japan Indexは、透明性の高いFTSE RussellのESG Ratingを使用して、潜在的なESG関連リスクへのエクスポージャーおよび各企業の対応・管理状態を評価します。

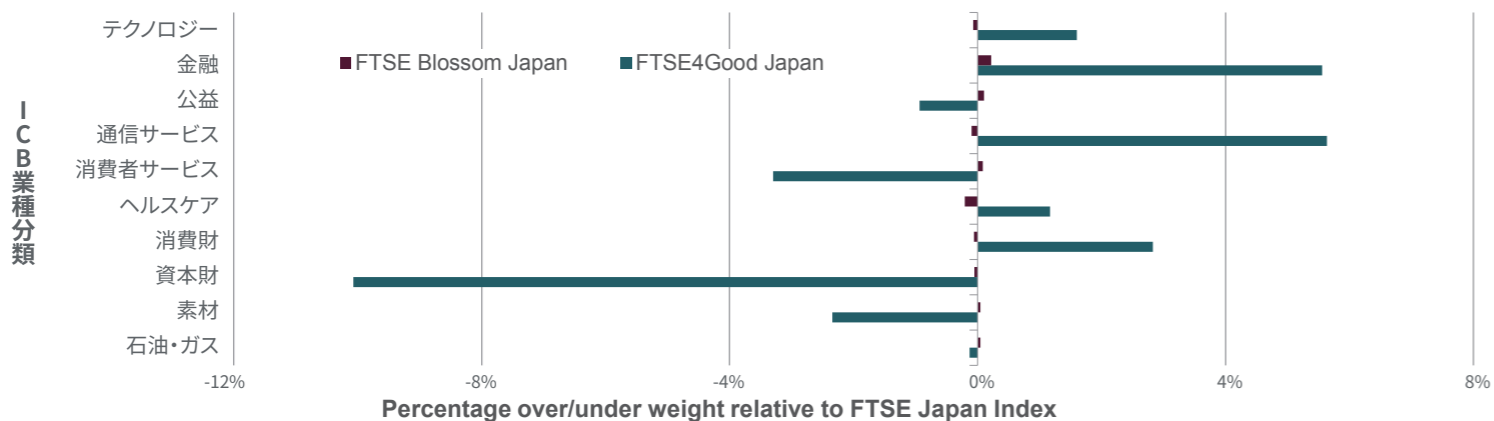


詳細はFTSE Blossom Japan Index 基本ルールおよびFTSE4Good インデックスシリーズの基本ルールおよび選定ルールに記載されています。
インデックス内の個別銘柄の最大ウェイトは、FTSE Blossom Japan Index全体の時価総額の15%、またはFTSE Japan Index内のウェイトの20倍までに制限しています。

ESGで評価した日本企業を組み入れ

FTSE Blossom Japan Indexは、日本株を対象にESGで一定の評価を付与した企業のみを組み入れた指数です。具体的には、大型株と中型株を対象としたFTSE Japan Index (493銘柄、2017年6月時点)をスタート地点に、FTSE Russell独自のESGレーティングで各企業をスコアリングします。ESGレーティングでは、約300の指標から企業の事業内容に焦点を当て個別に調査項目を設定し、14のESG分野に基づいて詳細な評価をし、0から5(最高値は5)のスコアを付与します。3.1以上のスコアを持つ銘柄が指数に採用されるといった仕組みです。評価は半年ごとに見直されます。あくまで絶対評価であるため、すべての対象銘柄が3.1以上のスコアを獲得した場合は、理論的にはFTSE Japan Indexと同じになります。

図3. 業種ウェイトの比較: FTSE Japan を基準にFTSE Blossom Japan とFTSE4Good Japanとの比較 (2017年6月末時点)



出典: FTSE Russell. 2017年6月26日時点。重要な法的情報については最終ページをご参照ください。

“ベータの底上げ”に合致

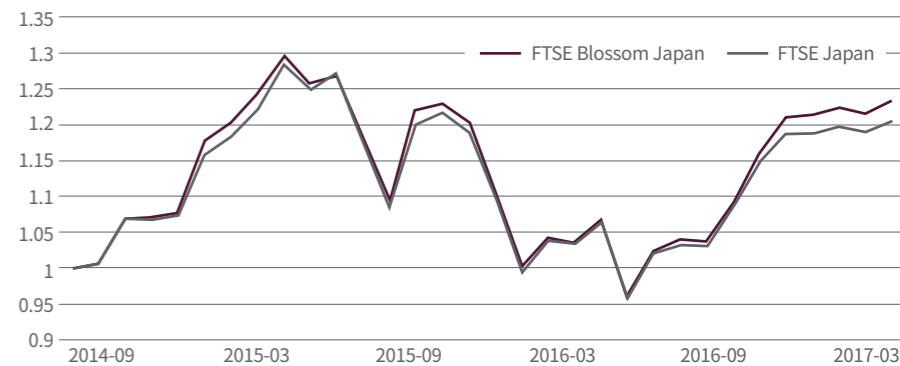
FTSE Blossom Japan IndexのESGレーティングは、一定の総合評価を満たした企業を選定しているため、当然のことながら日本全体の平均と比べれば高い位置にあります。ただし、それでもまだ欧州各国の対象ユニバースの平均レベルに過ぎません。日本企業にとってESGに関する課題とは、どういったESG行動が投資に直接結びついているかの実感が弱い点です。PRIに署名したとしても、どういった基準で企業を評価しているのかを発表している機関投資家は少ないものです。GPIFが今回、選定したインデックスを開示したことは、企業内のESG活動と投資家向けの行動を合致させる点で、大きな関心を集める1つのきっかけになりました。指数に組み入れられていない企業に関心を持つことそのものがGPIFの願いとするならば、優良企業を可視化するFTSE Blossom Japan Indexは、ユニバーサルオーナーとしてのGPIFが強調する“ベータの底上げ”という観点に合致する指数と言えます。実際、2014年にスチュワードシップ・コードが制定されて以降、日本企業のESGレーティングは、25%*ほど向上しています。

スマートベータからのESG投資

アセットオーナーや機関投資家が、より自発的にESGに取り組むうでの課題もあります。「ESG投資手法の方法論はまだ試行錯誤の状況であり、コンセンサスがあるとは思えません。理念先行で進んできた歴史的背景とどのようなリターンが得られるかが明確になっていないからだと思われます。投資に求めるリターンへの議論を深めたうえで投資手法の選択を行う必要があるでしょう」(加藤康之氏)。
これからのESG投資を考えるヒントとして興味深いのは、スマートベータ戦略を採用する世界のアセットオーナーがESG投資に高い関心を示していることです。特に100億ドル超の資産規模を持つ欧州基金にESG投資基準の導入を予定していることが多いことがわかりました(第4回FTSE Russell年次グローバル調査より)。その理由としては「長期リスクの回避」や「ソーシャルグッド」と項目が上がり、スマートベータ戦略による高炭素投資へのリスクをヘッジしたいといったアセットオーナーの姿勢が垣間見られます。

* 2015年6月30日時点と2017年6月30日時点の総合ESGレーティングの比較

図4. トータルリターン: FTSE Blossom Japan Index とFTSE Japan Index (2014年10月-2017年4月)



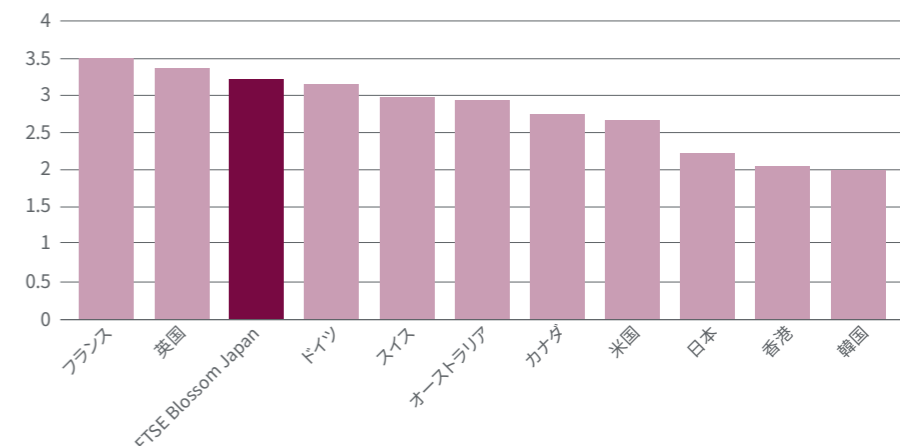
出典: FTSE Russell. 2017年4月28日時点。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことにご留意ください。リターン推移は仮定の推定に基づいています。重要な法的情報については最終ページをご参照ください。

図5. パフォーマンス統計: FTSE Blossom Japan Index, FTSE Japan IndexとFTSE4Good Japan Index (2014年10月-2017年4月)

	年率換算のリターン	シャープレシオ	市場上昇時の追随率、%	市場下落時の追随率、%	ボラティリティ%	トラッキングエラー
FTSE Japan	7.49	0.55	n/a	n/a	17.63	n/a
FTSE Blossom Japan	8.48	0.61	104.01	100.12	18.12	1.74
FTSE4Good Japan	7.31	0.53	106.28	107.47	18.77	2.09

出典: FTSE Russell. 2017年4月28日時点。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことにご留意ください。リターン推移は仮定の推定に基づいています。重要な法的情報については最終ページをご参照ください。

図6. ESGレーティング: 総合評価の国際比較



* FTSE Developed Indexに組み込まれる時価総額において大型、中型と定義され、対象企業数が40社以上の国、およびFTSE Blossom Japan Index構成銘柄の表示。2017年6月20日時点での構成銘柄及びFTSE Russell ESG Ratingsの総合評価情報を利用し、各国に所属する企業の平均スコアの算出。

Topics 気候変動への多様な対応を行う世界の投資家

Smart Sustainability

英国の最大規模の企業年金基金の一つであるHSBC Bank 英国企業年金基金は、ファンドの株式運用におけるデフォルトとして“Future World Fund”を採用しました。同ファンドに対してはDCプラン、DBプランからそれぞれ20億英ポンドの合計40億英ポンドの資金が集まっています。

利用されたインデックス:
FTSE All-World ex Climate Balanced Factor index

Investor Collaboration for Climate Transition

企業が気候変動対策のために低炭素経済へ戦略的に移行する動きが投資運用にどのような影響を与えるかを検討、共有するためのイニシアチブである「Transition Pathway Initiative (TPI)」に、6.5兆米ドル以上の資産を代表する機関投資家のグループが参加しました。

利用されているデータ: FTSE ESG Ratings

Strategically green

欧州と北米の最大級のアセットオーナーが、資産運用における低炭素経済に移行戦略を構築、実行する中で、グリーン・レベニュー・データを活用しています。

利用されたインデックス:
FTSE Green Revenues data model



このセクションは、気候変動への対応を行う世界の投資家に関するトピックを扱っています。Smart Sustainability、Strategically green、Investor Collaboration for Climate Transitionの3つの主要なトピックが紹介されています。各トピックには具体的な事例やデータが提供されています。